

九州

九州支社

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119

kyushu
@kensetsunews.com

会員メリットを追求



建設コンサルタンツ協会 九州支部長 田中 清氏

田中清建設コンサルタンツ協会九州支部長は14日、就任会見を開き、「会員であることのメリットを追求する」と支部運営の抱負を語った。各県の測量設計業協会と連携し地元が抱える課題の解決を図る一方で、大規模災害対応など地元だけでは解決できない課題は「オール九州、オールジャパンで取り組む」と全国組織の強みを生かす。

オールジャパンで課題解決

2007年の支部理事の就任以降、副支部長などの要職にあたった。会員数は07年当時から50社程度増えて現在は

153社。増加分の大半は九州の本社企業となり、「この間の4人の支部長が地元の声聞き、メリットを模索した結果だ」とし、それを踏襲した支部活動を念頭に置く。支部運営方針には▽会員企業の経営の安定化・就業環境の改善▽技術力と品質の確保・向上▽社会貢献活動の3項目を据える。就業環境の改善として取り組む納期の平準化では「意見交換会などを通して各県・政令市で成果が出始めた」とし、引き続き、発注機関に対して、具体事例を示しながら現場レベルへの浸透・徹底を求める。技術力の向上では、講習会などの開催について、福岡以外やサテライトの活用で支部全体の底上げを図る。20年11月には阿蘇大橋と松浦大橋の2現場を中継する「現場見学会」を開いた。約250人が

福岡会場や各社で視聴参加企業の本IM/CI導入に、「コロナ禍の新しい現場見学だ。多く参加できるのがリモートのいいところ。今後よりモットを活用した技術力の向上に取り組む」方針だ。20年7月豪雨災害では、国土交通省のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）に同行し、球磨川に架かる橋梁の流失を調査した。「支店・支社社員が調査に当たり、まさにオールジャパンでないといけない活動」と評価する。

（たなか きよし）1977年九州大工学部水工土木学科卒。同年第一復建入社。同社社長を経て20年9月に会長に就任。趣味は昭和歌謡を聞きながらの晩酌。福岡出身。68歳。